

2. 教科に関する調査の結果（概要）

(1) 調査問題の内容、課題等、指導改善のポイント

○調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題している。なお、中学校第2学年までの内容となるようにしている。

- (例) ■ 文章中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する。
- 話合いの話題や発言を踏まえ、これからどのように本を選びたいかについて自分の考えを書く。
 - 説明的な文章を読み、本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する。
 - 表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する。

○課題等

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ◆ 文の成分の順序や照応について理解することに課題がある。〔3二〕
- ◆ 文章の中で用いられている表現の技法について理解することに引き続き課題がある。〔4一〕

情報の扱い方に関する事項

- ◆ 情報と情報との関係について、意見と根拠の関係を理解することに引き続き課題がある。〔1三〕

我が国の言語文化に関する事項

- ◇ 行書の特徴を理解することについては、改善の状況が見られる。〔4三〕

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと

- ◆ 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることに課題がある。〔1一〕
- ◆ 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。〔1四〕

書くこと

- ◇ 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることはできている。〔3一〕
- ◆ 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がある。〔3四〕

読むこと

- ◆ 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。〔2一〕
- ◆ 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることに課題がある。〔2三〕
- ◆ 目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。〔2四〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

- **文の成分の順序や照応について理解し、活用できるようにする指導の充実**
 - ・ 文の成分の順序や照応などの文の構成について理解したことを、文章を書いたり、書いた文章を推敲したりする場面で活用できるようにすることが大切である。そのためには、生徒が書いた文などを用いて、語順や照応によって伝わり方がどのように変わるかを確かめた上で、自分が伝えたいことに合わせて文を整えるなど、知識と活用場面が結び付くように指導することが効果的である。
- **表現の技法について理解し、活用できるようにする指導の充実**
 - ・ 表現の技法について理解したことを、文章を読んだり、自分の考えを伝えたりする場面で活用できるようにすることが大切である。そのためには、表現が工夫されている文章や詩歌などを取り上げ、用いられている表現の技法に着目し、その名称などを確かめた上で、その効果について考えたり自分の表現に生かしたりするなど、知識と活用場面が結び付くように指導することが効果的である。

情報の扱い方に関する事項

- **情報と情報との関係を理解し、話や文章の中で捉えることができるようにする指導の充実**
 - ・ 原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際の話や文章の内容を理解したり精査したりする際に、その関係を捉えることができるようにすることが大切である。そのためには、話合いの中での発言などを取り上げ、どの部分が意見でどの部分が根拠なのかを確かめたり、根拠が意見を支えるものになっているかを確かめたりするなど、文脈の中で具体的に捉えることができるように指導することが効果的である。

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと

- **話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて考えをまとめる指導の充実**
 - ・ 話合いを通して、考えを広げたり深めたりするには、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることが大切である。そのためには、話合いの目的や話題を意識し、話合いがどのような段階にあるのかを捉えながら話したり聞いたりできるよう指導することが大切である。自分が経験したことを基に建設的な話し合い方について考えたり、実際の話合いを通して自分が考えたことを基に話合いを振り返ったりすることで、話合いの過程に注目できるようにすることが効果的である。

書くこと

- **自分の考えが伝わる文章になるように、効果を考えて描写を工夫して書く指導の充実**
 - ・ 自分の考えがよく伝わる文章を書くには、表現の効果を考えて描写するなど、工夫して書くことが大切である。そのためには、用いる語句や表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えながら書き進めたり、伝えたいことが読み手に伝わるかを確かめて推敲したりすることができるように指導することが大切である。書いた文章を読み合っ、書き手の意図と読み手の受け止め方がかみ合っているかを確かめるなど、読み手の立場に立って考えることができるようにすることが効果的である。

読むこと

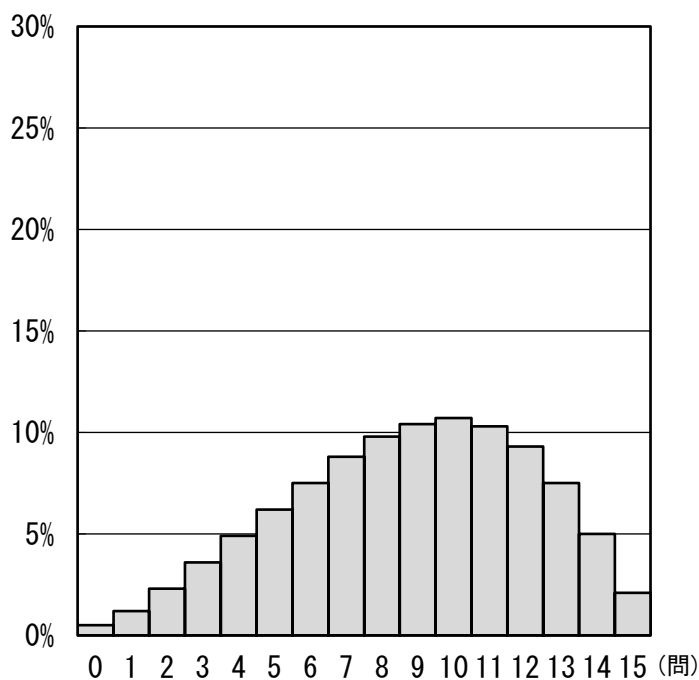
- **目的に応じて必要な情報に着目して要約する指導の充実**
 - ・ 文章を読んで内容を理解したり、理解したことを伝えたりするには、目的に応じて必要な情報に着目して要約することが必要である。概略を理解するために文章全体の内容を短くまとめたり、情報を他者に伝えるために必要な部分を取り出してまとめたりするなど、その目的や必要に応じて、内容や分量、方法が異なるということを理解し、適切に要約することができるように指導することが大切である。要約した文章を読み合い、目的に沿っているかを検討したり、必要な情報を適切に取り上げることができているかを確かめたりすることが効果的である。

(2) 集計結果 (正答等の状況)

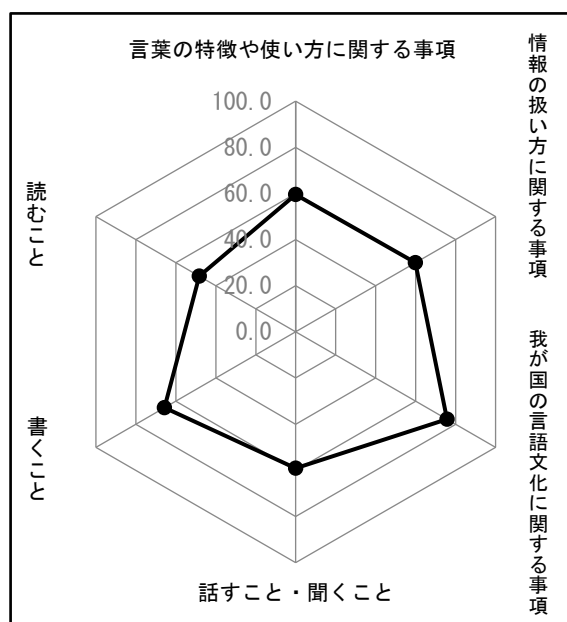
【国語】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
903,644 人	8.8 問/15 問	58.4%	9.0 問	3.4 問	10 問

正答数分布グラフ (横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



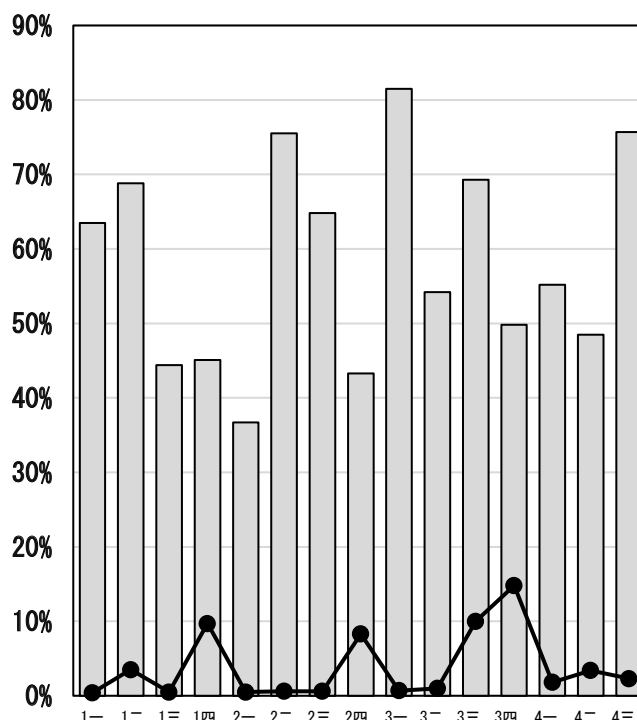
学習指導要領の内容の平均正答率



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	3	59.5
		情報の扱い方に関する事項	2	59.9
		我が国の言語文化に関する事項	1	75.7
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3	59.1
		書くこと	2	65.7
		読むこと	4	48.3
評価の観点	知識・技能	6	62.4	
	思考・判断・表現	9	55.8	
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	9	61.3	
	短答式	3	62.2	
	記述式	3	46.1	

問題別正答率「棒」、無解答率「折れ線」
(横軸:問題番号、縦軸:生徒の割合)



問題別集計結果

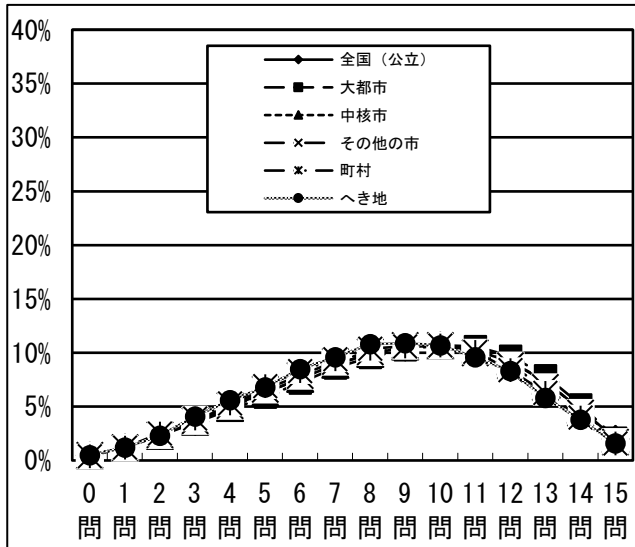
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容					評価の観点			問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)	
			知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式			
			言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと									読むこと
1一	話し合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				1エ				○		○			63.5	0.4
1二	話し合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝えるように話すことができるかどうかをみる				2ウ				○		○			68.8	3.5
1三	話し合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1ア						○		○			44.4	0.5
1四	話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1オ				○		○			45.1	9.7
2一	本文中の図の役割を説明したのとして適切なものを選択する	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる								○		○			36.7	0.5
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したのとして適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2ア						○		○			75.5	0.6
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する	文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる								○		○			64.8	0.6
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる								○		○			43.3	8.3
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したのとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる								○		○			81.5	0.7
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したのとして適切なものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる		2オ						○		○			54.2	1.0
3三	漢字を書く(みちたりた)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる		2ウ						○		○			69.3	10.0
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる								○		○			49.8	14.8
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したのとして適切なものを選択する	表現の技法について理解しているかどうかをみる		1オ						○		○			55.2	1.8
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる								○		○			48.5	3.4
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したのとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解しているかどうかをみる				1エ(4)				○		○			75.7	2.3

(3) 地域の規模等の状況

○ 平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差を見ると、地域の規模等（公立：大都市、中核市、その他の市、町村、へき地）による大きな差は見られない。

[国語]

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
全国（公立）	875,574人	8.7 / 15問	58.1%	9.0問	3.4問
大都市	222,477人	8.8 / 15問	58.9%	9.0問	3.4問
中核市	203,654人	8.7 / 15問	58.2%	9.0問	3.4問
その他の市	362,462人	8.6 / 15問	57.2%	9.0問	3.3問
町村	76,851人	8.5 / 15問	56.6%	9.0問	3.3問
へき地	12,569人	8.4 / 15問	56.0%	9.0問	3.3問

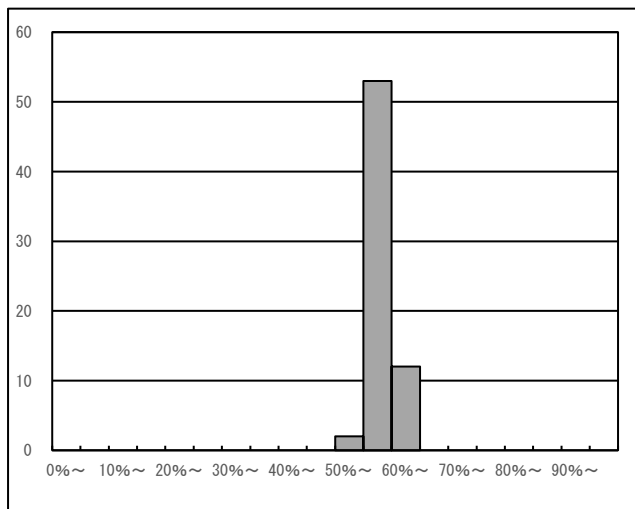
※大都市（政令指定都市及び東京23区）、中核市、その他の市、町村の値は、当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する生徒の調査結果（正答数）を集計したものである（都道府県立学校は含まない）。
 ※へき地の値は、へき地教育振興法及び各都道府県の条例（規則）によって指定された学校に在籍する生徒の調査結果を集計したものである。大都市、中核市、その他の市、町村の値に重複する。

(4) 都道府県・指定都市の状況

○ 各都道府県・指定都市（公立）の状況については、平均正答率を見ると、全ての都道府県・指定都市が平均正答率の±10%の範囲内であり、大きな差は見られない。

[国語]

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：都道府県・指定都市数）



全国（公立）の平均正答率	全都道府県市（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	全都道府県市（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
58%	62% 【+4%】	53% 【-5%】

※都道府県は指定都市を除く。全国（公立）の平均正答率は整数値で表示している。

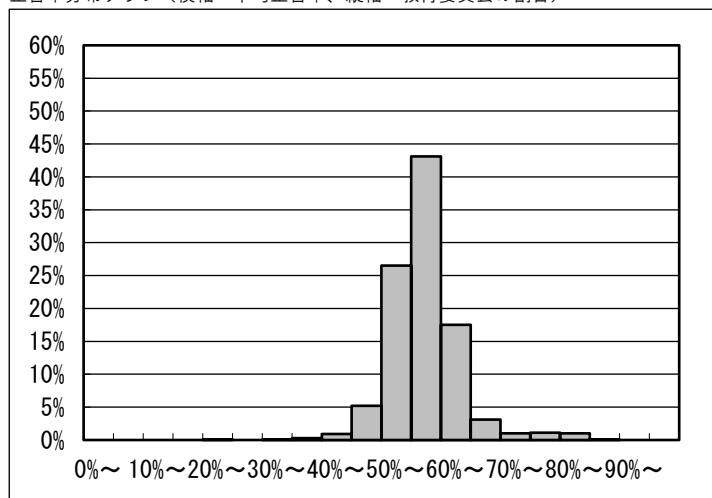
(5) 教育委員会の状況

○ 各教育委員会の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、令和5年度と比べ、ばらつきに大きな変化は見られない。

[国語]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率	教育委員会の中央値	教育委員会の標準偏差
1,785	8.6 / 15問	57.2%	56.9%	5.9%

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：教育委員会の割合）



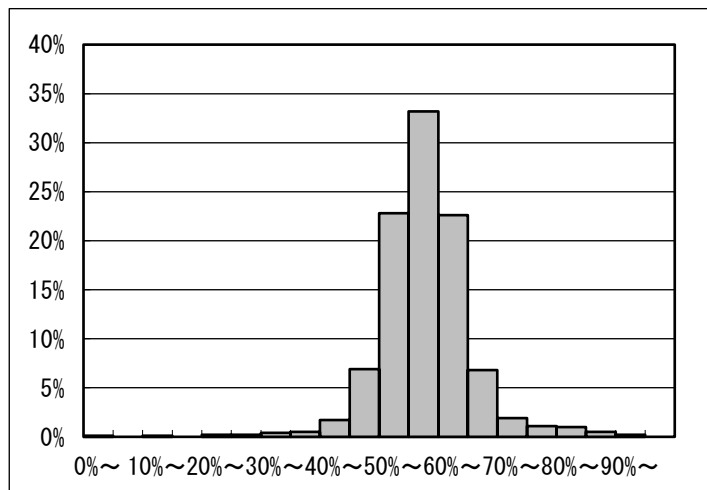
(6) 学校の状況

○ 各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、令和5年度と比べ、ばらつきに大きな変化は見られない。

[国語]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率	学校の中央値	学校の標準偏差
9,603校	8.7 / 15問	57.7%	57.5%	7.7%

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：学校の割合）

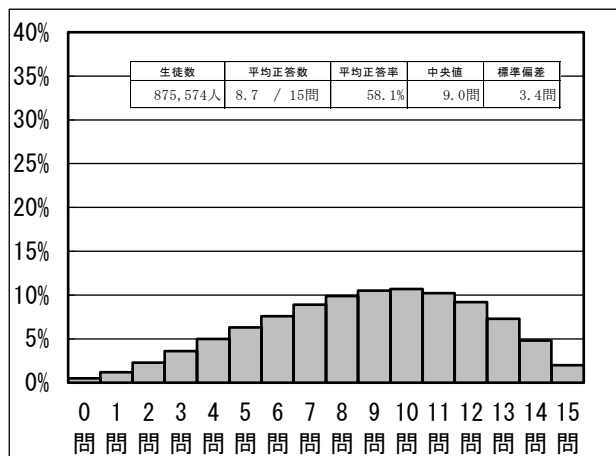


(7) 国・公・私立学校の状況

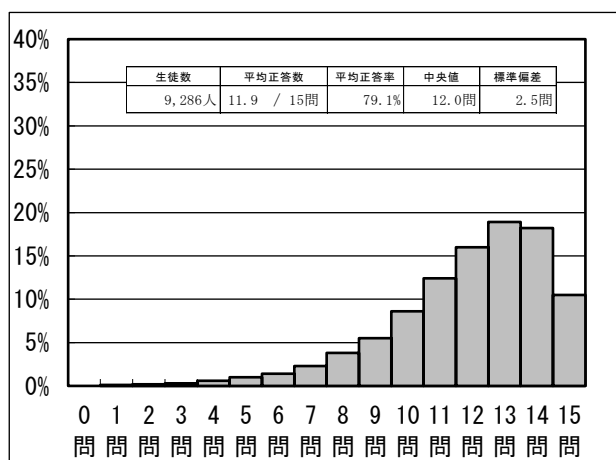
○ 国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均正答数について見ると、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

[国語]

＜公立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



＜国立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



＜私立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）

